

まちづくり座談会（第28回議会報告会 & 第7回意見交換会）報告書

淡路市議会議長 岨下 博史 様

令和7年11月15日

会 場 東浦公民館

班 長 古山 久則

開催日時	令和7年11月15日（土） 午前10時 ～午後12時
開催会場	東浦公民館（会議室）
出席議員	古山久則、西村秀一、石岡義恒、村田沙織、土井章史、大久保浩伸
参加者数	合 計 16人（うち男性 12人、女性 4人）

2025.11.15 第28回議会報告会 要望・質疑・回答

No.	要望・質疑	回答(済)
1	淡路市の水供給状況と観光増による負荷 淡路島全体の本土導水は日量 17,650 トン、うち約 11,000 トンが淡路市の申込水量。洲本市・南あわじ市は各2割程度。 観光客は年間1,300万人超、約7割が淡路市に滞在し、水道などライフラインの利用が増加。 住民から、ホテルの水不足報道に伴う断水懸念の問い合わせあり。	現時点で地域の断水は発生していないとの認識。 広域水道の正式説明を待つ。
No.	要望・質疑	回答(済)
2	夢舞台周辺の新規開発と水量不足の指摘 計画中的ホテル・レストラン街の規模が大きく、最大容量計算で水不足に陥るとの回答を確認。 自己水（自前で水源確保）を求める方向性の指示があるとの認識。 計画規模を見直し、本土導水の利用に合わせる案があるとの情報。	広域水道から水不足報道の理由について正式説明を受ける場を設定（定例会で一般質問予定） 夢舞台周辺開発の水需要試算と代替水源（自己水）確保計画の技術的検証を第三者評価も含めて準備

No.	要望・質疑	回答(済)
3	<p>契約時期・計画変更に関する指摘</p> <p>2021 年契約を基準に議論すべきとの指摘(過去年次との混同回避)。</p> <p>物価高騰や職人不足による工事遅延の可能性が示唆されるが、詳細は未確認。</p> <p>市は担当部局から事業者へ計画進行を促している。</p>	<p>パソナ計画の延長申請状況と契約履行の事実関係について、県・市・相手方で協議し、結論を整理</p>
No.	要望・質疑	回答(済)
4	<p>パソナ計画の契約履行・延長申請問題</p> <p>契約条項に「3 年以内に完了」あり。1 回目の契約延長申請は行政が了解。</p> <p>2 回目以降の延長申請が未提出で、重大問題として委員会で審議中。</p> <p>契約違反の場合、10 年以内の買い戻し特約に基づき土地の買い戻しと金銭返還の方向性。</p> <p>県有地も関係し、県・市・相手方で協議進行中。近々に結論を目指す。</p> <p>明確な回答が得られない場合、買い戻し特約の適用を視野に協議を進める方針。</p>	<p>契約条項（3 年以内に完了、10 年買い戻し）のタイムラインと延長申請の有無を公式文書で市民向けに公開</p>
No.	要望・質疑	回答(済)
5	<p>情報共有と報道対応の課題</p> <p>市民への情報周知不足が不満の原因。議会・行政の連携による広報が必要。</p> <p>議決前の報道リリースに対し、議会は新聞社へ抗議。行政は報道の自由と回答。</p> <p>誤解を招かない正確な情報共有体制の構築を重視。</p>	<p>市民向け情報共有計画（広報・説明会・町内会単位など）を議会・行政で策定し、報道との調整ルール（議決前リリース防止の要請方針）も整備</p>
No.	要望・質疑	回答(済)
6	<p>2015 年以降の計画変遷と万博関連利用への懸念</p> <p>2015 年に地域向けの商店街・住宅計画、2021 年にプロポーザル、2022 年にパソナへ提出、3 年以内整備の前提があったとの認識。</p> <p>2024 年に園児長（延期？）の計画提出、4 月開業予定のレストランが未開業。</p> <p>2025 年にレストラン開業とする発言がある一方、2024 年に用途変更許可を与えたとの指摘。</p> <p>市有地は市民のために使うべきで、計画の転用や守られていない点を問題視。</p>	<p>契約条項に「3 年以内に完了」あり。1 回目の契約延長申請は行政が了解。</p> <p>2 回目以降の延長申請が未提出で、重大問題として委員会で審議中。</p> <p>県有地も関係し、県・市・相手方で協議進行中。近々に結論を目指す。</p>

No.	要望・質疑	回答(済)
7	<p>小中学校の統合・少人数教育の是非</p> <p>淡路市は過去に小学校・保育園が半減。地域の衰退懸念と教育の質への課題を提起。</p> <p>文科省の適正配置の考え方を踏まえ、小規模校の利点（上下学年の学び合い、良好な人間関係、成績向上）を紹介。</p> <p>北海道やフィンランドの少人数教育事例を参照し、少人数を魅力として発信する提案。</p> <p>野島地域での学校・保育所・医療機関の廃止による居住困難化を例示し、発想転換の必要性を主張。</p>	<p>ある程度の人数がいて、体育の大勢でやるスポーツの授業や音楽の合奏とかもいろんな楽器を使ってできたりとかっていう利点もありますが少数でのきめ細かく一人一人に支援がいくように。教職員の人数の方が大事。</p>
No.	要望・質疑	回答(済)
8	<p>浦小・学習小の統合計画の現状と見直し</p> <p>統現在、学習小学校約 270 人、浦小学校約 241 人と増加傾向で、市内でも多い部類。</p> <p>統合計画は明確時期未定。行政は状況に応じ延期の姿勢。</p> <p>統合は現実的でないため、計画の一旦リセットと見直しを議会から求める意向。</p> <p>子どもファーストの観点と、淡路独自の少人数教育の特色化を検討。</p> <p>小学校 24 校（H17）から現在 11 校、中学校 5 校へ統廃合が進行。今後の方針転換が必要。</p>	<p>浦小・学習小の統合計画を一旦リセットし、現状児童数と通学負荷を踏まえた見直し案を作成</p>
No.	要望・質疑	回答(済)
9	<p>通学環境への配慮</p> <p>小学校の徒歩通学による自然体験の価値を強調。</p> <p>バス通学は負担が大きく過酷との指摘。通学手段の影響を考慮した計画を要望。</p>	<p>少人数教育の特色化について教育委員会と検討開始し、評価指標と地域別の通学可視化を進める</p>

※ 「要望・質疑」「回答の済・未」のどちらかに必ず○を付けてください。

2025.11.15 第7回意見交換会 意見・回答

No.	意見・要望
1	<p>新市長への期待と市政の現状 意見 4月に新市長が就任し、7月には議会に新メンバーも加わり、新しい淡路市への前向きな意見交換が期待されている。</p> <p>市政の考え方は予算配分に表れるため、今後のお金の使い方、特に教育分野への配分が注目される。</p> <p>回答 市民からは、新市長の考えや方針が見えてこないという意見が出ているが、これは前年度予算を執行中のため、新しい施策は来年度予算の策定から具体化すると考えられる。</p> <p>市長は市民との面談機会を増やしており、市民の声に耳を傾ける姿勢を見せている。</p>
No.	意見・要望
2	<p>淡路市の教育に関する課題 意見 淡路市の予算における教育費の割合は7.3%と非常に少ない（教員人件費は県負担のため含まず）。</p> <p>回答 この割合を大幅に増やすのは難しいが、予算内で給食費無償化のような市独自の特色を出すことが重要である。</p>
No.	意見・要望
3	<p>学校の規模と教育の質 少人数学級のメリット・デメリットについて議論。少人数だとレベルの高い子に合わせがちで全体のレベルが上がりにくい懸念や、スポーツでも人数が多い方がレベルの高い選手が育つという意見が出た。</p> <p>一方で、学校統廃合が進む中、若い世代からは教育の質、特に学力向上を求める声が上がっている。一宮小学校の統合事例では、教育の質を保つための議論が地域やPTAと行われた。</p> <p>結論として、少子化が進む中で学級数減少は避けられない課題であり、子どもたちの将来にとって何が最善かを考えることが最も重要である点で一致した。</p>
No.	意見・要望
4	<p>教育現場の課題: クラスの人数よりも、教職員の数を確保し、一人ひとりにきめ細かい支援を行うことが重要である。しかし、教員不足が深刻な問題となっている。</p> <p>不登校の生徒が増加しており、サポートルームなどが設置されているが、問題発生前の段階での教育費投入が望ましい。</p> <p>昔と現在で、教師の立場や働き方、家庭や社会との関係性が大きく変化していることが指摘された。</p>

No.	意見・要望
5	<p>淡路市の活性化と産業・農業振興 人口増加と雇用 人口を増やすには子育て世代を増やす施策が必要だが、市内の賃金の低さと雇用の少なさから、神戸など市外へ通勤する人が多い。</p> <p>産業の創出や企業誘致が市の活性化に不可欠である。</p> <p>農業政策と移住者: 農地の宅地化や耕作放棄地など、農業の衰退が懸念されている。</p> <p>移住者は増えているが、市外で就労するケースが多く、市の産業振興に繋がっていない。ただし、移住者が市内で農業を始める動きもあり、こうした支援が地域の活性化に繋がる可能性がある。</p>
No.	意見・要望
6	<p>市民参加と情報公開のあり方 市民参加の課題: 市が開催するワークショップは形式が硬く、現状説明に時間がかかりすぎるため、専門知識のない市民の意見を活かす工夫が必要である。</p> <p>情報公開と議員との関わり: 市や議会からの情報発信が市民に届いておらず、会議の資料や結果も十分に公開・共有されていない。</p> <p>市民が議員に意見を伝える機会が少なく、意見を送っても返事がないケースもあるため、議員は意見交換会や戸別訪問などを通じて市民の声を真摯に受け止める姿勢が求められる。</p> <p>市民は投票によって議員を選んだ責任として、任期中に議員の活動を監視し、要望を伝えていくべきだという点で一致した。</p>
No.	意見・要望
7	<p>淡路島に移住してきて10年経つが、自治会や町内会に入ることが無く現在に至っている。全島一斉清掃にも参加したかったが、それは自治会のほうなのと言う返答で、どうしていいか分からず参加できなかった。特に役員をしたいわけではないが、地域で何をしているのかを知りたい。</p>
No.	意見・要望
8	<p>楠本から岩屋（ジェノバ）へ子供を通学のために自転車で行かせようと考えていたが、国道に街灯が少なく危険。街灯を増やせないか？</p> <p>回答 住宅地が無く、現状として街灯が少ない。 要望していく。（兵庫国道工事事務所 洲本維持出張所へ）</p>
No.	意見・要望
9	<p>議員定数削減について、削減すると幅広い市民の意見を聞く事が出来にくくなる。</p> <p>回答 人口減の現状もあるが、この件は今からの議論となる。市民アンケートをとってはどうかという考えもある。</p>

No.	意見・要望
10	<p>明石海峡大橋の無料化は実現するのか。</p> <p>回答</p> <p>本来、国道は無料が原則。但し橋の維持管理や補修費も必要なので無料化には時間がかかる。現在減額されていて 910 円となっている。今後 10 年は減額が継続となるので少しは負担が減っている。</p>
No.	意見・要望
11	<p>都市計画マスタープランが、まちづくりコンサルが作ったものを提案している。市職員が何も考えずにコンサル任せにしてはいけない。</p> <p>もっと職員を育てる事が必要。具体的数値も把握しておくべき。</p> <p>回答</p> <p>もう少し具体的にマスタープランにこんな事をしたらと言う内容を教えて下さい。→（参加者回答は、ここでは細かい事は言えないのでマスタープランの会で言いますとの事。）</p>
No.	意見・要望
12	<p>移住してきても住むところがない。</p> <p>回答</p> <p>東浦グラウンドの活用なども考えているが、多くの課題がある。</p>